

医師確保対策の推進について

【 総務省・文部科学省・厚生労働省 】

提案・要望の内容

- 1 地域医療を担う病院勤務医の確保について、労働環境の整備につながる診療報酬の見直しや、医療機関の管理者要件にへき地等への従事経験を付加するなど、実効性のある対策を講ずること。
- 2 増加傾向にある女性医師が継続的に勤務できるよう、就業環境を整備するとともに、離職者のために再就業の支援を図ること。
- 3 地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人を養成するために、大学医学部における地域医療機関の医師の再研修などのリカレント教育・スキルアップ教育を充実させ、それに伴う必要な財源を確保すること。

【現状と課題】

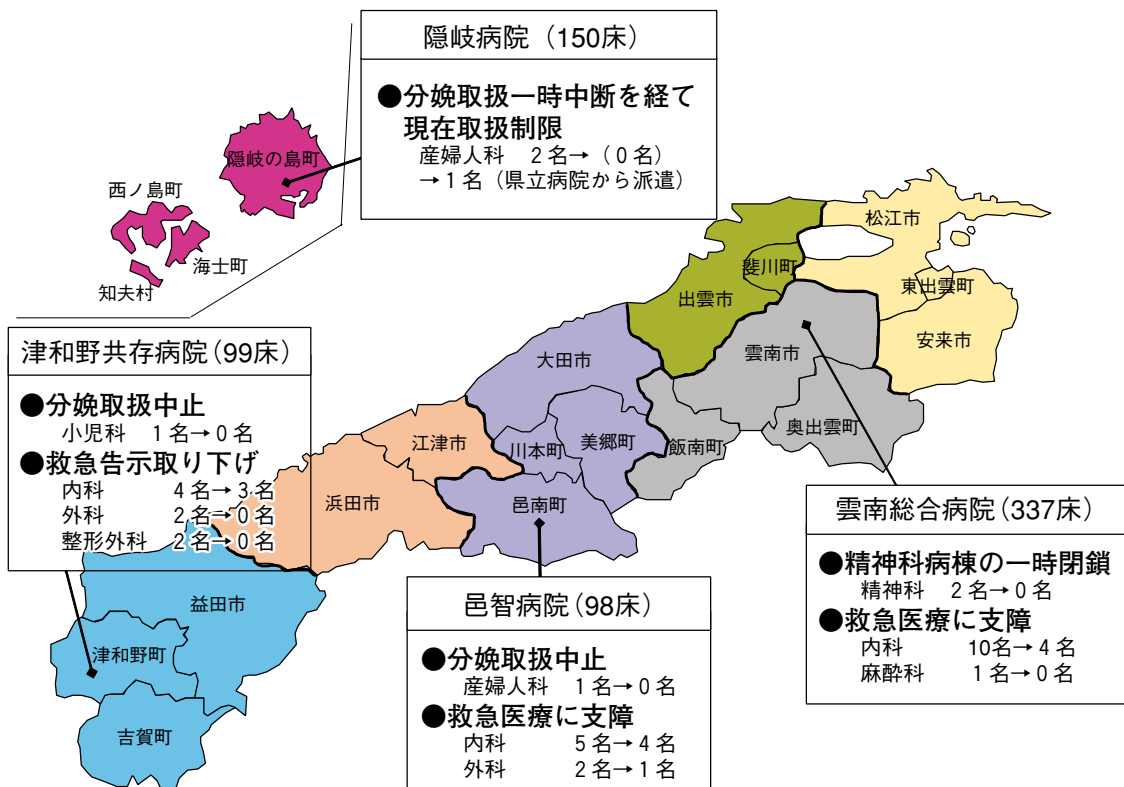
○病院勤務医の不足

離島・中山間地の公的病院を中心に医師確保が困難になっており、へき地医療、救急医療などを担う病院勤務医の労働環境の改善などが喫緊の課題である。

○女性医師の増加

女性医師は増加傾向にあり、特に小児科、産婦人科については若い世代で女性が占める割合が高く、出産・育児と両立して継続的に勤務できる就業環境の整備などが必要である。

島根県における医師不足の深刻な病院例（H15→H19常勤医師数）



【本県の取組状況・方針】

- 赤ひげバンク、へき地医療奨学金貸与制度を創設するなど、医師の確保に本格的に取り組む。(平成14年度～)
- 初期臨床研修制度の義務化に対応し、島根大学や県内の臨床研修病院と連携し「研修医等定着特別対策事業」を実施する。(平成17年度～)
- 「医師確保対策室」を設置し、島根大学の地域枠推薦入学者のための奨学金の創設や指導医の育成、後期研修の支援、即戦力医師の確保などの医師確保対策事業を実施する。(平成18年度～)
- 奨学金貸与制度の拡充や女性医師の就業支援に着手する。(平成19年度～)

【提案要望の効果】

- 県民すべてが、いつでもどこでも安心して医療を受けられる社会の形成

URL:<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryotaisaku/>